

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課		■担当係	園芸畜産係		
■評価事業名称	流山市民まつり物産展出店事業					
■事業開始年度	平成17年度					
■評価事業コード	050200 - 211	■会計区分	一般会計			
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり				
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興				
	■施策	02 農産品の高付加価値化と新たな流通の開拓				
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策			
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの					
■法令等の名称						
■関連計画の名称						
■事業の目的と概要	首都圏消費地との交流により地域特産品のPRと販路拡大の推進を図る。千葉県流山市民まつり「姉妹都市・友好都市物産展」に出店し、特産品である、りんご、二子さといも等を持参し流山市民に直接販売する。					

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
11 流山市民まつり物産展出店事業	花巻農協、北上市物産開発推進協議会	北上市の友好都市である千葉県流山市の市民まつりにおいて、北上地域の特産品のPR活動及び販売。 ○実施日 10月下旬	・実施日10月29日 ・りんご、さといも、お菓子等お土産品の販売。 ○品目 りんご、さといも等販売、いものこ汁試食提供を実施。	リンゴ103箱、さといも94袋販売・いものこ汁の試食

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	2	12	11	8	
人件費	241	1,564	1,952	1,374	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	243	1,576	1,963	1,382	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	主要農産物の販売率	1	1	1	0.71	りんご販売量/持込数量の比率
	販売参加者数	市1人 JA2人 りんご生産者2人 二子いも生産者2人 生産者2人 キャンペーンレディ1人	市3人 JA2人 りんご生産者2人 二子いも生産者2人 副市長	市4人 JA1人 りんご生産者2人	市3人 JA2人 りんご生産者2人 二子いも生産者2人	平成21年度JA2人、農家2人、市職員2人

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

主要農産物の持込数量				2,610個	りんご持込個数3,000個はあくまで目標数値であり、秋の作柄に影響されます。
------------	--	--	--	--------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

問題点・課題等

■目標達成状況	特産品であるりんご、ニ子さといもを販売した。	昨年は、悪天候だったため来場者が少なく販売が思わしくなかった。
<input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている		

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

長年交流を継続しており、地域特産品のPRの推進を図るためにも必要である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了